

歌唱表現（テノール独唱）の記録

山 本 裕 之

はじめに

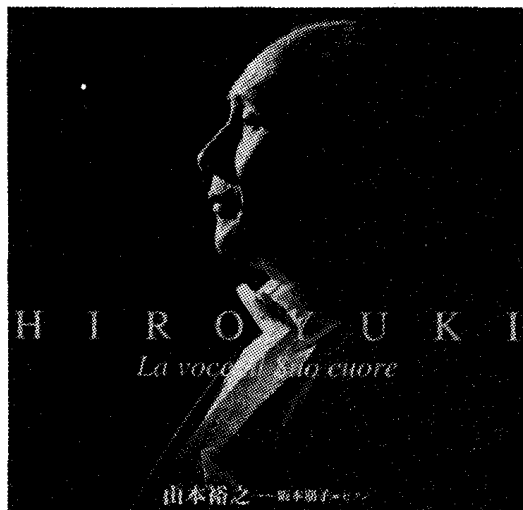
私の研究テーマは、イタリアオペラにおけるベルカント唱法の実践研究です。演奏による研究発表（歌唱表現）を中心としておりますので、ここに、昨年度本学より出版助成を頂き制作致しましたCD（コンパクトディスク）の研究曲目、及び過去3年間の研究曲目を含む演奏歴を発表させていただきます。

CD『魅惑のテノール——山本裕之』

HIROYUKI

La voce al Suo cuore

（CDジャケット参照）



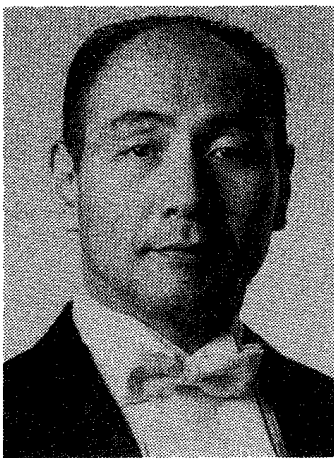
プログラム ● Program

山本裕之=テノール
阪本朋子=ピアノ

- | | |
|---|---|
| 1 「ガンジス川に日は昇り」A.スカルラッティ ————— [2'09"]
<i>"Già il sole dal Gange" A.Scarlatti</i> | 10 「からたちの花」山田耕筰/北原白秋 ————— [2'49"] |
| 2 「私を傷つけるのはやめておくれ」A.スカルラッティ ————— [2'54"]
<i>"O cessate di piagarmi" A.Scarlatti</i> | 11 「鐘が鳴ります」山田耕筰/北原白秋 ————— [2'36"] |
| 3 「魅惑」F.P.トステイ ————— [2'38"]
<i>"Malia" F.P.Tosti</i> | 12 「捨てた葱」山田耕筰/野口雨情 ————— [1'16"] |
| 4 「最後の歌」F.P.トステイ ————— [4'42"]
<i>"L'ultima canzone" F.P.Tosti</i> | 13 「紅殻とんぼ」山田耕筰/野口雨情 ————— [1'50"] |
| 5 「もう君を愛さない」F.P.トステイ ————— [5'26"]
<i>"Non l'amo più" F.P.Tosti</i> | 14 「二十三日」山田耕筰/野口雨情 ————— [1'34"] |
| 6 「君を愛したい」F.P.トステイ ————— [3'00"]
<i>"Io voglio amarti" F.P.Tosti</i> | 15 「冷たき手を」G.プッチーニ……オペラ「ラ・ボエーム」より ————— [4'59"]
<i>"Che gelida manina" from "La Bohème" G.Puccini</i> |
| 7 「漁夫は歌う」F.P.トステイ ————— [4'24"]
<i>"Il pescatore canta" F.P.Tosti</i> | 16 「ほおの涙が」G.ヴェルディ……オペラ「リゴレット」より ————— [5'14"]
<i>"Ella mi fu rapita" from "Rigoletto" G.Verdì</i> |
| 8 「太陽と愛」G.プッチーニ ————— [2'03"]
<i>"Sole e amore" G.Puccini</i> | 17 「花の歌」G.ビゼー……オペラ「カルメン」より ————— [4'19"]
<i>"Air de fleur" from "Carmen" G.Bizet</i> |
| 9 「あのいつわりの約束」G.プッチーニ ————— [5'23"]
<i>"Menti all'avviso" G.Puccini</i> | 18 「巢に帰るつばめ」V.チ・クレシェンゾ ————— [2'53"]
<i>"Rondine al nido" V.de Crescenzo</i> |
| | 19 「私の太陽」E.デ・カプア ————— [3'36"]
<i>"O sole mio" E.di Capua</i> |

演奏者プロフィール

● Profile



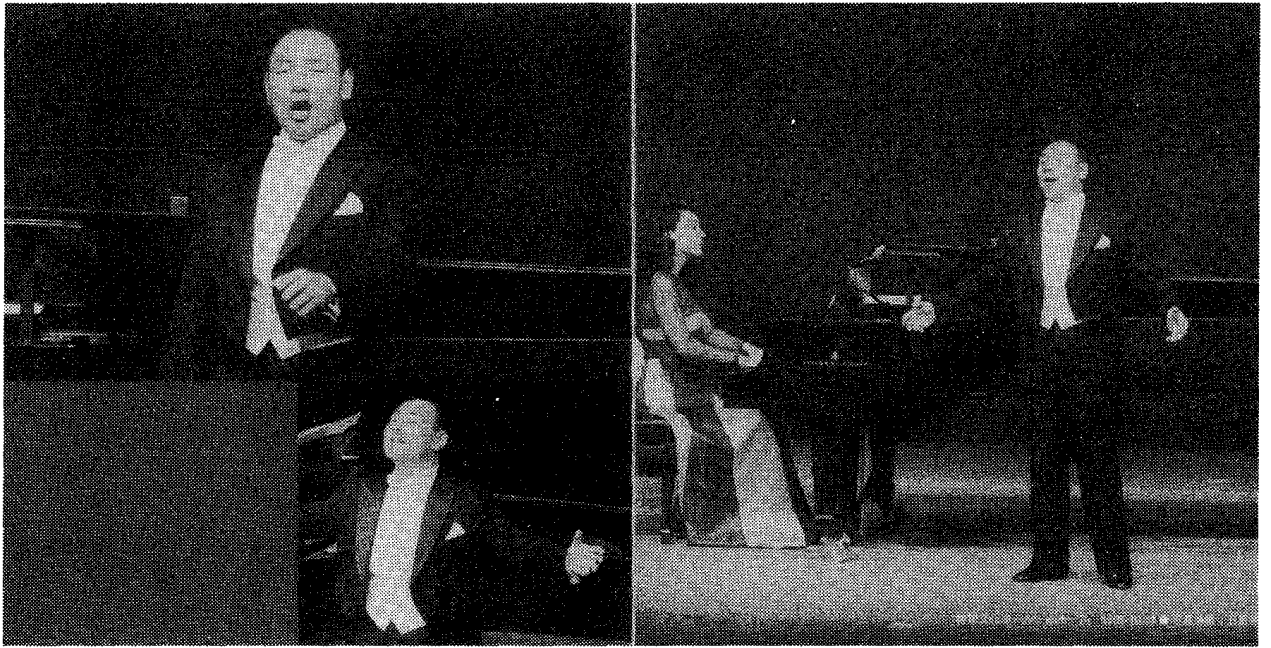
■ 山本裕之 [テノール]

大阪音楽大学音楽学部音楽科卒業。1978年、日本演奏家連盟推薦ジョイントリサイタルに出演。1980年、第11回イタリア声楽コンクール金賞受賞。関西歌劇団に入団、室内オペラ「蕩児」のアザエルでデビュー。

その後、オペラ「コシ・ファン・トゥッテ」フェランド、「ドン・ジョヴァンニ」ドン・オッターヴィオ、「魔笛」タミーノ、「後宮よりの逃走」ベルモンテ、「カルメン」ドン・ホセ、「カヴァレリア・ルスティカーナ」トゥリッドウ、「アイーダ」ラダメス、「ラ・ボエーム」ロドルフォ、「蝶々夫人」ピンカートン、「椿姫」アルフレード、「外套」ルイーダ、オペレッタ「こうもり」アイゼンシュタイン等の主役を務め、「第九」「メサイア」「レクイエム」「ヨハネ受難曲」。その他のミサ曲のテノールソロとしても活躍中。

1986、91、95年にリサイタルを開催。優れた音楽性とリリックな歌唱で、常に好評を得ている。93年のニッセイオペラ「蝶々夫人」では、ピンカートンを歌い、名古屋・神戸・東京にて5回の公演に出演。95年のザ・カレッジオペラハウス公演「蝶々夫人」でもピンカートンを歌う。

1983年より84年までドイツ文化センターの給費留学生としてミュンヘンへ留学、教会でのコンサート等に出演。1985年、ローマへ短期留学。



録音：1996.2.28
 音楽の友ホール・新大阪
 録音技術：U.S.M豊中
 サウンド・デザイナー：植田公造
 カバーデザイン：井手 真
 カバーフォトグラフィ：金井 勝
 制作：音楽の友ホール・新大阪

このCDは、神戸親和女子大学の
 平成7年度出版助成による

研究演奏歴（1993年10月～1996年6月）

1993年	青少年のための「日生劇場オペラ教室」	愛知県芸術劇場
10月 1日	第1回愛知公演 プッチーニ作曲オペラ『蝶々夫人』の ピンカートン役 手塚幸紀指揮，平尾力哉演出 名古屋フィルハーモニー交響楽団	大ホール
10月28日	青少年のための「日生劇場オペラ教室」 第14回神戸公演	神戸文化大ホール

10月30日	<p>プッチーニ作曲オペラ『蝶々夫人』の ピンカートン役</p> <p>岡田 司指揮, 平尾力哉演出</p> <p>関西フィルハーモニー管弦楽団</p> <p>神戸秋の芸術祭</p> <p>NISSAY OPERA SERIES 93</p> <p>プッチーニ作曲オペラ『蝶々夫人』の ピンカートン役</p> <p>岡田 司指揮, 平尾力哉演出</p> <p>関西フィルハーモニー管弦楽団</p>	神戸文化大ホール
11月 9日	日生劇場開場30周年記念	東京日生劇場
11日	<p>青少年のための「日生劇場オペラ教室」</p> <p>東京公演</p> <p>プッチーニ作曲オペラ『蝶々夫人』の ピンカートン役</p> <p>時任康文指揮, 平尾力哉演出</p> <p>新星日本交響楽団</p>	
11月21日	<p>明石——バレホ姉妹都市提携25周年記念</p> <p>バレホシンフォニーオーケストラ明石公演</p> <p>ベートーヴェン作曲『交響曲第9番』の テノールソロ</p> <p>デビッド・ラマダノフ指揮</p> <p>バレホシンフォニーオーケストラ</p>	明石市民会館 大ホール
11月23日	<p>舞鶴第九演奏会</p> <p>ベートーヴェン作曲『交響曲第9番』の テノールソロ</p> <p>松尾葉子指揮</p> <p>大阪フィルハーモニー交響楽団</p>	舞鶴市総合文化 会館大ホール

12月12日	ベートーヴェン作曲『交響曲第9番』の テノールソロ 小林研一郎指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団	姫路市文化センター 大ホール
12月18日	ベートーヴェン作曲『交響曲第9番』の テノールソロ トーマス・ザンデルリング指揮 大阪シンフォニカー管弦楽団	加古川市民会館 大ホール
12月19日	岐阜県交響楽団創立40周年記念 第46回定期演奏会 ベートーヴェン作曲『交響曲第9番』の テノールソロ 岡田 司指揮 岐阜県交響楽団	岐阜市民会館
12月23日	近畿大学OB交響楽団 第8回定期演奏会 ベートーヴェン作曲『交響曲第9番』の テノールソロ 木村俊明指揮 近畿大学OB交響楽団	東大阪市民会館 大ホール
12月26日	ベートーヴェン作曲『交響曲第9番』の テノールソロ 大友直人指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団	ザ・シンフォニー ホール
<u>1994年</u>		
3月 3日	第18回大阪フィルの夕べ ベートーヴェン作曲『交響曲第9番』の テノールソロ	大阪 フェスティバル ホール

	秋山和慶指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団	
5月22日	神戸・アーバンオペラハウス公演 ヴェルディ作曲オペラ『椿姫』の アルフレード役 飯森範親指揮，松本重孝演出 大阪センチュリー交響楽団	神戸文化大ホール
7月23日	「BEL CANTO NORTHWEST」主催 『オペラアリアの夕べ』 テノールソリスト	アメリカ オレゴン州 キャノンビーチ シティーホール
7月30日	「BEL CANTO NORTHWEST」主催 『オペラハイライト演奏会』 プッチーニ作曲オペラ『ラ・ボエーム』の ロドルフォ役	アメリカ オレゴン州 ポートランド トゥリニティー 教会大ホール
9月25日	神戸文化ホールフェスティバル 94 『神戸のオペラ』 テノールソリスト 松尾葉子指揮 大阪シンフォニカー管弦楽団	神戸文化中ホール
12月 5日	ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団 日本公演 ベートーヴェン作曲『交響曲第9番』の テノールソロ 武田博之指揮 ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団	岡山シンフォニー ホール
12月 9日	ベートーヴェン作曲『交響曲第9番』の	加古川市民会館

	テノールソロ トーマス・ザンデルリング指揮 大阪シンフォニカー管弦楽団	大ホール
<u>1995年</u>		
3月19日	阪神淡路大震災チャリティーコンサート 「レクイエム in こうべ」 モーツァルト作曲『レクイエム』の テノールソロ	神戸朝日ホール
4月13日	大阪フィルハーモニー交響楽団 「第13回アルカイック定期演奏会」 ビゼー作曲オペラ『カルメン』ハイライトの ドン・ホセ役 飯森範親指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団	尼崎アルカイック ホール
4月22日	阪神淡路大震災チャリティーコンサート 「レクイエム in にしのみや」 モーツァルト作曲『レクイエム』の テノールソロ	なるお文化ホール
4月27日 29日	大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス公演 プッチーニ作曲オペラ『蝶々夫人』の ピンカートン役 星出豊指揮，松本重孝演出 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	ザ・カレッジ・ オペラハウス
5月27日	阪神淡路大震災チャリティーコンサート 『世界の歌・日本の歌』 テノールソリスト	尼崎アルカイック ホール・オクト
6月10日	阪神大震災救援・ 乙訓チャリティーオペラコンサート	京都長岡京 記念文化会館

	ヴェルディ作曲オペラ『椿姫』ハイライトの アルフレード役	
10月31日	『山本裕之テノールリサイタル』	神戸文化中ホール
11月 3日	神戸市北区民センター主催 すずらんホールコンサート 『オータムコンサート』 テノールソリスト	神戸市北区 すずらんホール
12月16日	ベートーヴェン作曲『交響曲第9番』の テノールソロ トーマス・ザンデルリング指揮 大阪シンフォニカー管弦楽団	加古川市民会館 大ホール
12月23日	第7回北巢本『クリスマスコンサート』 テノールソリスト	北巢本保育園 大ホール
<u>1996年</u>		
1月27日	ベートーヴェン作曲『交響曲第9番』の テノールソロ 小林研一郎指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団	大阪狭山市 SAYAKA HALL
2月21日	「神戸婦人大学音楽祭」 ヴェルディ作曲オペラ『椿姫』ハイライトの アルフレード役	神戸文化中ホール
2月28日	『魅惑のテノール——山本裕之』CD録音	音楽の友ホール・ 新大阪
4月19日	大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス公演	ザ・カレッジ・
21日	プッチーニ作曲オペラ「三部作」より『外套』 のルイージ役 飯森範親指揮, 中村敬一演出 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	オペラハウス

6月7日 | ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

第15回定期演奏会

モーツァルト作曲オペラ『ドン・ジョヴァンニ』

ハイライトのドン・オッターヴィオ役

おわりに

研究演奏歴を書かせて頂きましたが、いくつかの演奏会につきましては、新聞・音楽雑誌等に演奏会批評が掲載されましたので、ここに紹介させて頂きます。

①「BEL CANTO NORTHWEST」主催

『オペラハイライト演奏会』

プッチーニ作曲オペラ『ラ・ボエーム』のロドルフォ役

アメリカオレゴン州ポートランド トゥリニティー教会大ホール

◎THE OREGONIAN, AUGUST 1, 1994

(新聞より掲載)

Bel Canto workshop results in fine performances

By AMY M. STARKE
of The Oregonian staff

MUSIC REVIEW

Aspiring professional singers from the Bel Canto Northwest workshop showed off the fruits of two weeks of hard work Saturday in an evening of finely crafted performances that ranged from the comic and flip to the dark and tragic.

Distinguished artists Ellen Faull, Christopher Mattaliano and Nicholas Carthy put the 15 participants — 13 women and three men, with a mixture of ages and professional levels — through their vocal paces in operatic scenes staged at Trinity Episcopal Cathedral's Kempton Hall.

Faull, Juilliard professor emeritus who now makes her home near Vancouver, Wash., taught vocal technique. Mattaliano, a renowned director on faculty at Yale and Juilliard, taught acting; and Carthy, resident conductor of the Orchestra della Svizzera Italiana in Lugano, Switzerland, conducted and coached.

The intensive partnerships proved worthwhile. The singing was bright and the staging was top-notch.

Performances included both popular scenes from Mozart's "The Magic Flute" and "The Marriage of Figaro," and Puccini's "La Bohème," as well as scenes from more neglected works — Richard Strauss'

romantic comedy "Arabella," Hector Berlioz' comic opera "Beatrice et Benedict," and Ralph Vaughan-Williams' 37-minute opera "Riders to the Sea," considered to be his best and most successful opera.

Inexperience probably played a role in weakening the Mozart ensemble works; they were unconvincing and lacked punch, maturity and confidence. Two more weeks of work would have smoothed out the rougher edges.

Inexperience aside, there was a youthful spark to all of the singing. Soprano Christine Tolleson of Portland and tenor Hiroyuki Yamamoto of Kobe, Japan, stood out with their magically melodious and deliciously romantic performances as Mimi and Rodolfo in "La Bohème" ("Che gelida manina," "Si, mi chiamano Mimi," and "O soave fanciulla").

Tolleson and soprano Kari Ragan were delightful as Arabella and Zdenka ("Ich danke, Fraulein...") in a charming duet of two sisters' reconciliation.

Coral Walterman as Hero and Molly Claymon as Ursule in "Beatrice et Benedict" sang the nocturne "Vous coupirez, madame?" seamlessly and with an ethereal essence, and Donna Olson and Kurt Alakulp-

pi were suitably mocking and sarcastic as the would-be lovers Beatrice and Benedict in their duets from Berlioz' adaptation of Shakespeare's "Much Ado About Nothing."

"Riders to the Sea," a tragic opera focusing on a woman who has just lost the last two of her six sons in accidents, had an almost uniformly professional quality. The listener almost drowns in the intense, harsh, lamenting tonality. Carolyn Gronlund's strong mezzo captured grief without sentimentality as mother

Maurya, singing that the sea can hurt her no more.

The chorus of keening, wailing women representing the swelling of the sea created dramatic tension, and the piece concluded with the haunting sound of their voices alone, as the wind, fading away.

Michael Barnes and Rodney Menn provided their usual first-rate accompaniment.

The workshop, in its third year, no longer emphasizes the bel canto repertoire, but has enlarged to include art songs and other periods.

②大阪フィルハーモニー交響楽団「第13回アルカイック定期演奏会」

ビゼー作曲オペラ『カルメン』ハイライトのドン・ホセ役

飯森範親指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団

尼崎アルカイックホール

◎音楽現代6月号(1995年6月1日発行)〔芸術現代社〕

(雑誌より掲載)

◎大阪フィル第二三回アルカイック定期演奏会

第一部オペラ名アリア集、第二部「カルメン」ハイライトという構成で、大阪フィルのアルカイック定期としては初めてのオペラ・ガラ。関西歌劇団、関西二期会の歌手八人が多彩な歌の競演を繰り広げ、演奏会形式ながら「カルメン」が熱気あふれる歌唱の連続でオペラ本公演さながらに盛り上がった。もともと「カルメン」は表題役にスター的歌手が要求されるオペラなのだが、この夜の竹本節子(関西二期会)は内部から噴出する情熱を表情豊かな声に乗せて圧倒的な感銘を聴衆に与えた。とりわけ自由に生き、自由に死ぬ女になり切った「ハバネラ」は絶品。ドン・ホセ山本裕之(関西歌劇団)も竹本とがっぷり四つに組んだ好唱。女に一途にのめり込み破滅していく男の激情が「フィナーレ」の緊張と興奮をかき立てた。エスカミョリヨ田中勉(関西歌劇団)、ミカエラ欄和美(関西二期会)も充実した歌唱をきかせ、ころぼつくる合唱団、尼崎市合唱団の出演は雰囲気づくりに寄与した。指揮の飯森範親は躍動感鮮やかに各曲をまとめた(4月13日、尼崎アルカイックホール)。

③『山本裕之テノールリサイタル』神戸文化ホール

◎音楽の友1月号(1996年1月1日発行)〔音楽之友社〕

(雑誌より掲載)

関

西の演奏会から

●山本裕之

テノールの山本裕之が、スカルラツティ、トステイ、フツチーニ、山田耕柝の歌曲と、フツチーニ、ヴェルディ、ビゼーのオペラ・アリアでリサイタル(10月31日、神戸文化ホール)を開いた。山本は、以前に関西歌劇団のオペラ公演で聴いた時より、技巧的にずっと安定し、声量も豊かになった印象である。やや古いタイプと言えるかもしれないリリックな美声に、少しスピントも加わった感じで、ほとんどの曲を端正に、しかし適度な情感を伴って歌い上げた。響きが基本的にもろい声のためか、前半のイタリアの歌曲ではやや表情の変化に乏しく、少し平坦な印象を与えたが、後半はずっと表情豊かになり、スタイリッシュでありながら緩急強弱をわきまえた聴かせ上手の歌となった。ただアリアでの最高音に安定を欠いた点が残念。ピアノは阪本朋子。